



住宅用火災警報器の普及促進について (住宅防火防災推進シンポジウムの紹介)

予防課

概要

消防庁では、平成18年度より住宅防火対策の重要性を周知し、住宅用火災警報器(以下「住警器」)、防災品等の普及を図るため、住宅防火防災推進シンポジウムを開催しています。

ここでは、平成25年度に全国9カ所で開催されたシンポジウムの中から、群馬県会場の様子を紹介いたします。

平成26年2月2日(日)、群馬県高崎市総合福祉センターたまごホールにおいて、平成25年度住宅防火防災推進シンポジウムを開催しました。

子ども達を含む地域の住民の方々が多数参加され、立ち見も出るほどの盛況ぶりでした。

なお、平成26年度は、当該シンポジウムを全国7カ所で開催する予定です。

内容

(1) 基調講演

講師には、菅原進一東京理科大学総合研究機構教授を迎え、最近の火災の傾向と注意点、住警器の効果などについて講演をいただきました。

(2) パネルディスカッション

消防行政に造詣の深いタレントのダニエル・カール氏のほか、消防庁、高崎市等広域消防局、自治会等の代表者が、「一緒に考えよう！地域の住宅防火と防災対策」をテーマに住宅火災の現況、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の必要性、震災時の住宅防火対策、その他住宅用防災機器や防災品の重要性等について議論しました。

(3) トークショー

ダニエル・カール氏と地元女性防火クラブ、民生児童委員協議会及び群馬県聴覚障害者連盟等の代表者との対談形式でトークショーを行いました。トークショーの中では、高崎市等広域消防局職員による防災教室や住宅防火を呼びかけるファイヤーファイブショーも開催され地元幼年消防クラブの園児や保護者と一緒に防火や防災に関する勉強を行いました。

トークショーの最後には、参加者全員による「防災がんばっぺ！」のエールコールを行い、住宅防火防災への意識高揚を図りました。



来場者に語りかけるダニエル・カール氏



ファイヤーファイブショー



会場全体が一体となつてのエールコール